

環境チャレンジ前編教室の進め方（事例）

※授業は副読本をベースとし、推進員の考えたカリキュラムで行います。

時間	プログラム ★ねらい	流れ	推進員さんをお願い したいこと	参考資料 使用教材
2分	1. 推進員の自己紹介		笑顔で明るく元気な声で自己紹介を行い、子ども達を和ませる。	
4分	2. これから学ぶテーマの説明 ★「地球温暖化」とはどのようなことかを学ぶ	・皆さんは「地球温暖化」という言葉を聞いたことがありますか。（児童に聞いてみる。） ・地球温暖化とは、簡単に言うと地球が病気になって、地球がだんだん暖かくなっていくことです。 ・それじゃあ、なぜ、暖かくなっているか、知っていますか？（児童に聞いてみる） ・私たちが便利な生活を送るために、普段何気なく使っている電気も、皆さんの目には見えなくとも、遠くにある電気を作る発電所で、沢山の石炭や石油を燃やして、「地球を温めるガス」を出しています。 ・石油から作られた、ガソリンで走る車からも、たくさんの「地球を温めるガス」を出しています。 ・だから、私たちがムダな電気や石炭、石油をどんどん使っていると、地球が今まで以上に暖かくなります。これ	子供たちに理解しやすい用語の使用を心がける。 （例えば、「二酸化炭素・エネルギー」などの子供たちにとって抽象的な用語については使用を控え、二酸化炭素は「地球を温めるガス」、エネルギーは「電気・ガス・石油」など平易な言葉に置き換える。）	・「地球温暖化を止めるため家族みんなでチャレンジ」（以下副読本）P1

時間	プログラム ★ねらい	流れ	推進員さんをお願い したいこと	参考資料 使用教材
		が、地球を病気にする原因「地球温暖化」です。 ・地球がいま病気にかかっている、世界中でいろんな困ったことが起こっています。		
4分	3. 地球温暖化の影響の説明 ★地球（世界）の地球温暖化の影響・現状を認識する。 ★今後、地球（世界）は、どうなるのかを考える。	（副読本掲載の写真からどのようなことが分かるか児童に聞いてみる。） ・たとえば、高い山や寒い地方には、一年中、氷があったのに、それがどんどん小さくなって、氷がとけています。 ・とけた氷が水になって、川や海に流れこんで、海の水かさが増えて、皆さんが遊ぶ砂浜を削っています。また低い場所や小さな島は、海に沈んでしまいます。 ・大きな台風が増えて、雨がたくさん降って、町中を水浸しにしたり、皆さんのお家を壊したりするかも知れません。 ・また、暑さのせいでリンゴが赤くなりにくくなったり、お米が育たなくなったりすることも考えられます。 ・私たちが今のまま電気や石油をたくさん使う生活を続けていくと、皆さんが、おじいちゃん、おばあち	文書や口頭による説明だけではなく、副読本の写真やイラストを見ながら、分かりやすく解説する。	・副読本（P1、2） ・自作パワーポイント ・パネル

時間	プログラム ★ねらい	流れ	推進員さんをお願い したいこと	参考資料 使用教材
		やんになるとときには、ますます、地球の病気がひどくなって、たくさんの困ったことが起こると言われています。その影響は私たち人間だけではありません。 ・たとえば、暑さに弱い動物が生きていけなくなります。北の寒い国に住んでいる「白クマ」は氷の上で生活しています。でも、その氷が解けて住む場所がなくなって、死んでしまいます。 これは、日本や富山県から遠い北の国や南の島だけのお話ではありません。実は、私たちが住んでいる富山県でも、地球温暖化のせいで、困ったことが起こっていると思われていることがいくつも見られます。		
4分	4. 身近な富山県での影響の説明 ★身近な（富山県の）地球温暖化の影響・現状を認識する。 ★今後、自分達の郷土がどのようなようになるのかを考える。 ★自分達の問題であることを認識する。	（児童に、天候のことなど身近に感じることを聞いてみる。） ・最近、皆さん暑いですね。富山県でも、昔と比べて、暑い日がだんだん多くなってきています。 ・この暑さの影響で、サクラの開花時期が早まったり、雪が少なくなったりしています。 ・そして、「地球温暖化」が進むと、私たちの生活はもちろん、富山県に住んでいる、涼しい場所にしか住めないライチョウなどが死んでしまうのではない	・植物（桜）、動物（雷鳥）、天候（雪）など、子供達に、比較的にな身近な対象に的を絞って、地球温暖化の影響・現状について解説する。 ・推進員自身の実体験や昔話など具体的に分かりやすく説明する。	・副読本（P3、4）

時間	プログラム ★ねらい	流れ	推進員さんをお願い したいこと	参考資料 使用教材
		か、砂浜が沈んでなくなってしまうのではないかと心配されています。		
5分	5. 地球温暖化を防止するために、できることを考える ★わたしたちはどうしたらいいのかを考える ★身近な取組みを学ぶ	・でも、わたしたちの毎日の暮らし方を少しずつ変えることで、地球の病気「地球温暖化」をこれ以上ひどくならないようにすることができます。 ・例えば、誰もいない部屋の電気を消したり、テレビのつけっぱなしをやめたりすることで、地球を温めるガスを減らすことができます。 ・ゴミをたくさん捨てると、その分、燃やすものも増えて、地球を温めるガスも増えてしまいます。食事は残さず食べる、物をすぐに捨てないで、大切に使うことでも地球を温めるガスを減らすことができます。 ・その他、〇〇したりすることで、地球の病気「地球温暖化」を治すことができます。地球を救うために、みんなで、できることからいまず始めてみましょう。	・推進員自身が、日頃から取り組んでいること、常に心がけていることの事例を紹介する。 ・みんなで、できることから、いますぐ始めること、そしてみんなに広げていく重要性を説明する。	・副読本（P5、6）
8分	6. とやま環境チャレンジ10について ★実際の取組みに向け	・それでは、地球温暖化を止めるために、これからみんなにやってもらう「とやま環境チャレンジ10（テン）」について説明します。	・家族みんなで取り組む重要性（家計へのメリット）を解説。 ・子供たちに我が家の環境大臣とし	・とやま環境チャレンジ10Web アプリ

時間	プログラム ★ねらい	流れ	推進員さんをお願い したいこと	参考資料 使用教材
	て、チャレンジ 10 の進め方 (Web の使い方など) の説明	・副読本の 5 ページから 6 ページを見てください。ここには、地球温暖化を止めるために、皆さんがお家でできることが書いてあります。 ・家に帰ってから、家族の方と話をし、できそうなもの、やってみようと思うものを、この中から 6 個選んでください。自分で取組みを考えてみても良いです。 ・ちなみに、とりくみ例の 1 番, 2 番, 16 番, 18 番の 4 個は必ず取り組んでほしい取組みです。これら以外から 6 個えらんでください。 ・皆さんが選んだ取組み 4 個と必ず取り組んでほしい取組み 4 個の、計 10 個の取組みができたかどうかを、1 週間に 1 回、とやま環境チャレンジ 10 の Web アプリに記録してください。 どのように記録するか、Web アプリの使い方の動画を見ましょう。	て、自ら率先して環境に優しい行動に取り組んで欲しいことを解説する。	
5 分	7. わが家の環境大臣任命式 ★教室を聞いた児童の皆さんを「わが家の環境大臣」に任命	・それでは、今日から皆さんを、自分のお家の環境大臣に任命します。自分から進んで環境に優しい行動として、選んだ取組みを、家族みんなでやりつづけることを目指してがんばってください。	・先生と相談して、わが家の環境大臣任命証を渡すか決める。渡す場合は、解説動画ページにわが家の環境大臣任命証を印刷するためのファイルがあるので、学校にそれを使って印刷してもらうようお願いする。	

時間	プログラム ★ねらい	流れ	推進員さんをお願い したいこと	参考資料 使用教材
			・残り時間を考えて、児童全員に任命証を渡すか、代表だけに渡すかを検討する。	
3分	8. まとめ ★今日学んだことの確認 ★未来を担う子供たちへのメッセージ（一人ひとりの取組みの大切さや推進員の情熱）の伝達	・地球温暖化問題は、世界中の人間一人ひとりに関係する共通の問題です。 ・私自身も出来ることから一所懸命、頑張るので、皆さんも一緒に頑張ってください。	推進員さんの情熱や自分自身も頑張るという姿勢をアピールする。	

～ここまで35分～

残り15分

・DVD視聴 ・環境教育教材で発電等を体験 ・環境クイズの実施 など